

2024年7月11日
西日本旅客鉄道株式会社

大阪駅がますます便利に！ デジタル可変案内サイン（One to One） サービスエリアを拡大！

西日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：長谷川一明、以下「JR 西日本」）は、2023年春に開業した大阪駅（うめきたエリア）をイノベーションの実験場『JR WEST LABO』の中心として、「JR 西日本技術ビジョン」の具体化に挑戦する未来駅と位置づけ、これまでにない新しい体験をお客様に提供しています。この度、大阪駅（うめきたエリア）でサービスを提供してきた「デジタル可変案内サイン（One to One）」について、「大阪駅（西口エリア）」へも拡大展開することとしましたのでお知らせします。

※「JR 西日本技術ビジョン」：<https://www.westjr.co.jp/company/action/technology/vision/>

※『JR WEST LABO』：<https://www.westjr.co.jp/railroad/westlabo/>

※デジタル可変案内サイン：https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/06/page_20170.html

1. デジタル可変案内サイン（One to One）概要

お客様ご自身のスマホなどから、移動生活ナビアプリ「WESTER」により事前に目的地を登録していただくと、お一人おひとり専用のマークを目印に、“自分専用の行き先案内”を、One to Oneで、連続的に提供します。



2. サービス拡大エリア

大阪駅（西口エリア）に拡大します。



※2024年7月31日オープン予定

3. 供用開始

2024年7月31日

今回のご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、10番、11番、17番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

